

## 水理模型実験のご紹介

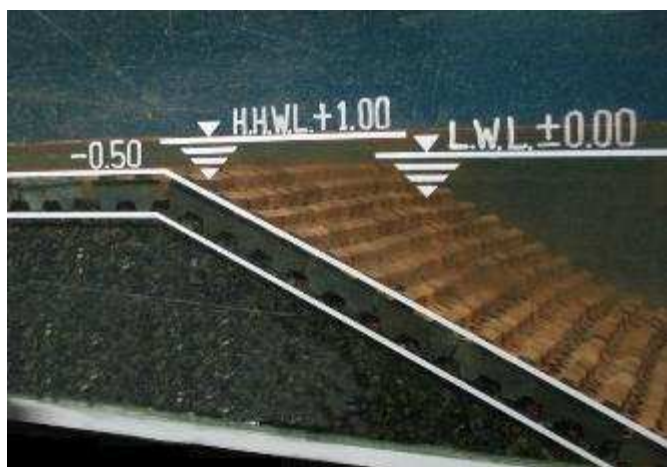


消波・根固ブロックの波浪に対する安定性照査や消波機能評価において、机上検討では判断に苦慮する場面に出会うことがあります。このような場合、弊社では水理模型実験を利用した、より精度の高い提案を行っています。



ブロックの安定性の確認だけでなく、たとえば裏面に示すような種々の実験を通じて最適な構造やブロック規格の提案を行ってまいりました。また、近年では波浪に対する検証だけではなく、津波越流時のブロックの安定性に関する水理実験も実施しております。

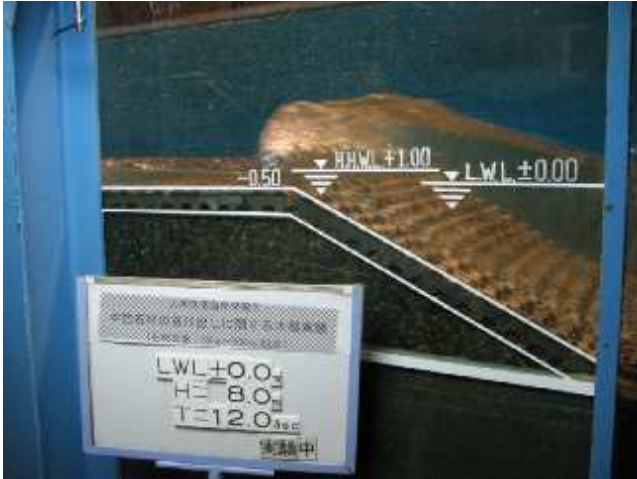
どうぞ、お気軽に御相談下さい。



### 実験施設の概要

		水路 1	水路 2
水路本体	全長(m)	50.0	
	内幅(m)	1.0	
	内深(m)	1.3	1.6
造波装置	型式	ピストン式	フラップ式
	発生波	不規則波・規則波	
	周期(sec)	0.5~3.0	
	波高(cm)	最大 50	最大 60

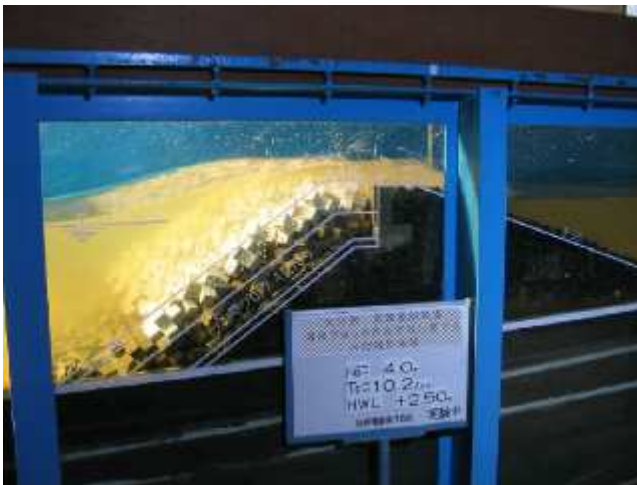
## 水理模型実験実績（例）



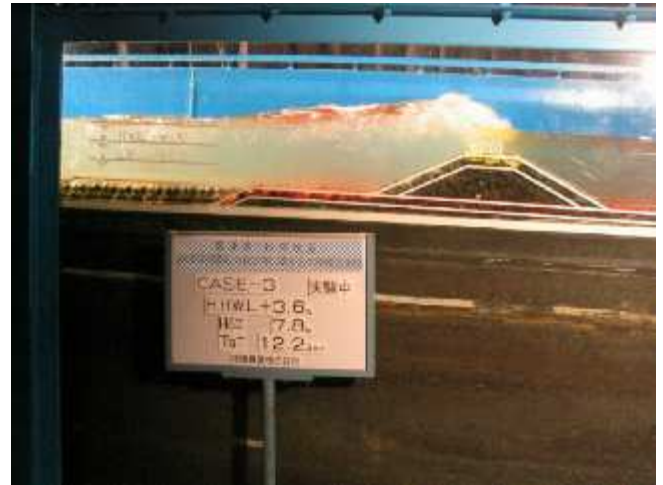
潜堤の安定性に関する水理実験  
（中詰石材の抜け出しに注目）



打ち上げ高に関する水理実験  
（人工リーフ背後の緩傾斜堤）



消波堤ブロックの安定性に関する水理実験  
（異なる規格によるかさ上げ）



消波堤岸側被覆石の安定性に関する実験  
（6 t / 個の巨石による被覆）



階段護岸ブロックに関する水理実験  
（ブロック摩耗時の安定性）



人工リーフの安定性に関する水理実験